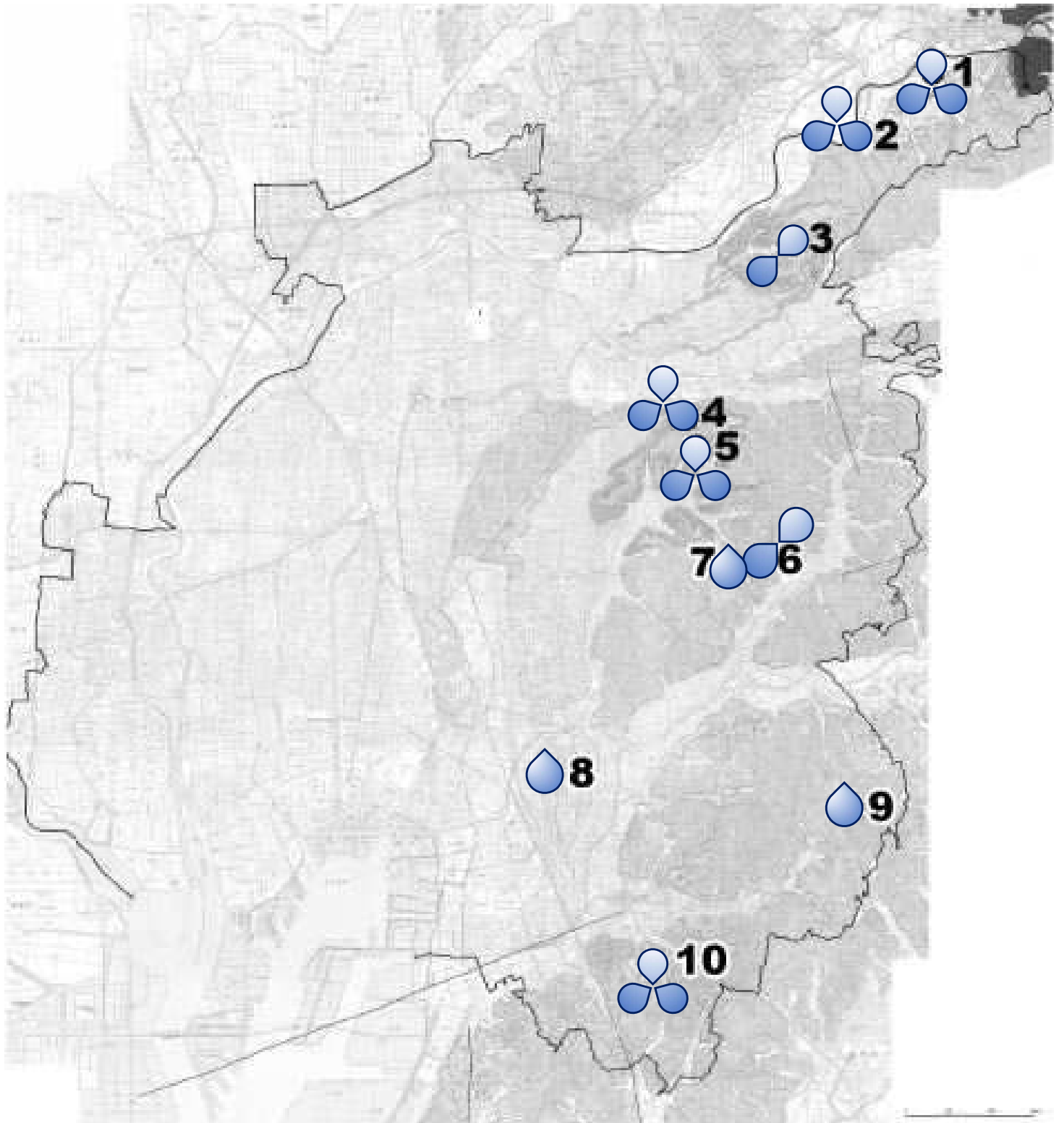




令和7年度 冬季結果一覧


番号	地点名	調査日	調査時刻	気温(℃)	天気			水量		水温(℃)	pH	COD(mg/L)	硝酸態窒素(mg/L)	鉄(mg/L)	マンガン(mg/L)	自由記述	
					当日	前日	前々日		計量できる場合 (mL/min)								
1	中志段味	R8.1.24	10:00	3.0	—	—	曇りのち雪	1	多量	—	16.0	5.5	0.0	0.3	0.0	0.0	日陰の水溜りは凍っている。ヒヨドリ、カラス、カワニナ、メダカ、ザリガニカワモズク、ミクリが流れの中で目につく
2	吉根	R8.1.18	11:00	12.0	晴	晴	晴	1	多量	14,250	17.0	6.5	5.0	0.1	0.0	0.0	
3	小幡緑地	R8.1.31	11:00	5.0	晴	晴	晴	2	小流れ	1,200	3.5	6.0	2.0	0.0	0.1	0.0	水量は前回と比較して少ないです。実際の湧水地点の側溝は落ち葉等で埋め尽くされていて、今回の結果が実際の湧水の水質に反映されているかは分かりません。この調査地は県の管轄内ということをお聞きしましたが、今後も湧水の調査を行うのであれば、湧水地点の環境整備を県と調整して対応していただきたいと感じました。正直なところ、湧水を調査しているとは思われませんでした。また、このような調査は広報だけでなく、ラジオやテレビなどのメディアでもっと紹介できるようにした方がよいと思いました。広報を読んでいる人は少ないと感じたからです。参加者が、年配の人が多くにも感じました。
4	茶屋が坂	R8.1.5	10:08	8.0	晴	晴	晴	1	多量	6,000	4.0	6.5	6.0	0.3	3.0	0.5	採取した水は今まで透明であったが、今回初めて濁っていた(黄色い色)であった。流れもいつもより幅が細い流れでした。雨が降る日がなかった為(12月26日~1月4日、雨量0:気象庁より)。
5	本山	R8.1.19	11:30	11.8	晴	晴	晴	1	多量	2,500	13.0	6.0	4.5	1.7	0.1	0.1	水量、これまでと変わり無し 寒くなり、周囲の草も無し 夏から秋にかけて悩まされた、蚊がおらず、快適に調査できました。
6	東山	R8.1.10	14:15	8.5	晴	晴	晴	2	小流れ	16	7.5	6.0	5.0	0.0	0.0	0.0	湧水の量が結構少なく、50mlたまののに3分程かかった。地面の土は普段のぐちゃぐちゃした感じはなかったが、積もった落ち葉の下は、土は湿っていた。小さい羽虫がたくさん飛んでいた。マスクをしていないと、鼻で吸い込んでしまう。汲んだ水のおいしさ、草木のカビ臭い感じがした
7	八事裏山	R8.2.22	14:30	22.0	晴	晴	晴	3	しみだし程度	—	14.0	6.0	6.0	0.1	4.5	0.5	調査期間全8回のうち、いちばん水量が少なかった。10m四方ある下の池は完全に干上がっていた。湧水口からは、しみだし程度であり、試しに木の枝でござそしてみたら、堆積落ち葉と赤土が大量に吐き出された。それ以後は、小流れが確認できるようになった。
8	呼統	R8.1.12	10:00	8.0	晴	晴	晴	3	しみ出し程度	—	9.0	6.5	6.0	0.2	0.2	0.5	
9	神の倉	R7.12.23	13:30	13.0	晴	晴	雨	3	しみ出し程度	—	8.0	7.5	2.0	0.2	0.2	0.5	Feの検査後、他の種類と比べて、すぐに緑色に変化しました。
10	大高	R8.2.20	13:30	13.0	曇り	晴	晴	1	多量	4,000	13.0	5.5	4.0	1.0	0.2	0.5	



 : 多量

 : 小流れ

 : しみ出し程度

 : なし